度を深化しつゝあるがモノ国附近

おける決戦は数一級と激烈の

來わが方は精鋭無比の海默をもつ

した、累次に真る海賊の機相が

敵陣地

を虱潰

-

一輸 擊送 破船

綜合戰果

ト月廿七日敵のモノ島」 割以來十一月十七日第五 ペプトゲンビル島沖航空

撃沈 計 47隻

撃破 m 37975

13(内6書 \$ (P) 3 MIZ

2(本藤 2(小 1(大

型型型 型空母 型空母

川田市は 大型開発 開発 開発 開発 開発 開発

第五次ブーケンビル島沖航空戦

空母三隻を轟撃沈

の補ふべく断く増殖成つた機助が

にまたのB2P38合計五十三機來職したが、

おおはいのうち日2四機を撃墜

「南太平洋OO基地十七日前限」わか振舞は二五日時ナウル島附近海面で戦いを、力が軍には現場なり

鹽澤海軍大將薨去

來襲した。お話はいれる歌山B2十五機B2五機合計二十機を撃墜した。

巡艦等四隻も血祭

撃し左の戰果を得たり、 | 大本營發表(十一月十七日十六時三十分)帝國海軍航空部隊は十一月十七日十六時三十分)帝國海軍航空部隊は十一月十 **轟沈** 大型航空母艦一隻

我方の損害未歸還五機

擊沈中型航空母艦二隻、巡洋艦三隻、 大型軍艦 (艦種未詳)

海鷲必殺の猛攻

全空母忽ち海の藻屑

二十日海軍階議を執行すること

一種なる場合がは大名の 七日二十1時二十分 海軍省公表 (

海軍では、故大將の 圧脳関炎にて十七日午後九時襲会将軍々事参議官勝綱率一大将は急

節功に四へ及

千里十

治ニー・七年版長卒、版大卒後英國田大將、嶋田御和などと同功で明 長野縣上伊排出身、山本元帥、

Uないのち第一體味参謀

る、一方わが方は未醤潤五機の稼い物料を出したがわれわれ 語を抱いて敵職群に殺到間情りの附張語感あるひは的確無比の機 西方数十年を抓行中なるを発見、待機中のわが攻撃機隊は必殺



| 遺において航空母艦三妻以下敵艦船も寒を磨り航空成中に不滅。 東京島は一部関海軍航空部隊は十七日末明寺をもブーゲンビル隊

敵集結艦隊の

大部分擊碎

が、多大の成果を收めた、耐ちの関連の関連の関連を表現の関連を表現の関連を表現の関連を表現の関連を表現しません。 曽班とする 官政とする 官民 会同の第一回生産 打闘のため原田郷督府監察 説長を

わが海螺は運日欧上陸監附近を

期間に對する側心が一般に得

上しせしめた。他、トロキナ神の蜿蜒地をも淡霧し、一ケ所より大火災を生ぎしめた、次いでナモ日星朝トロキナ神河で、ロキナ神村よび、モノ間の、蜿蜒地を爆発・十六日、未明じはトロキナ河口、ブルデータ、島の一敵陣 地 を爆発・ニート

機能すると共に、附近海面において戦刑艦を循環攻撃し続大な戦果を収めてある。すなはち十五日夜、

戦が繰退されたのを思い、 いのである。と同時に、

登取を帰退し、全世界を範囲せ後五回に買る比別を取りなき海

我方は第五次プーゲンビル助沖 航空限に於いて限大型航空母艦

ル局神航空職の難く職果を知つが第三次、集四次のブーゲンビ

を強へて、その一隻をも除さず

第三の出戦部隊を送り得るなら 定せる状況を知る毎に、第二、 滅的なる打躍を受けつくも適

> の跳びを以てすれば、米本士の 必るやを思はざるを得ない。こ

殿艦隊を睨まで追駆し、または

說社

輝く戦果に應へん

た我が樹鯛なる所足は、茲にま

一隻、合せて六髪を輸沈し

総十個する 戦を 巧じ指揮

横の連繋に隘 生産戦に注意喚起 路あり

部の一世代局に対して似上の

【東京電話】 共榮大東部建設

言も高らかに立ち上った六つの野

大東亞新聞大會 戦士の意氣昂

地址

対入申込天管強品

後の戒としようではないか。

『には國家は職との観私都公とか言 ・ はに職者してゐながら、をして日 ・ はに職者してゐながら、をして日 興物識でこれ態力の威泉であり散の我執の生活をしてはゐないか、 のながら事質はそれとは凡そ異比 に繋がる状、最悪の例をとうて銃 7.1



であることを切らればならない であることを切らればならない 人が響音からいつを密氣が

鹽田局長食糧事情を語る 英機十六鑿 トンを開沈したといはれる

總力傾注

占領 力のはははことにある人様々は是

関立 ドイツ町 すれば日常生活の一つ一つ赤直ちドデカネーゼ に國家の心臓に駆がると続いてるこうである。 粉部 奥家の位頭及び今日のまって名および る。 粉部 奥家の位頭及び今日のまって名および おっちょう で墜 獨於 到於 問題 外國人だからいくらお金を値づて もいっか、紅茶や咖啡は郷盛の物

本人を脱壊させたのは何名な前だ 掛してゐる剛逸指導者の際が少年

東國四線 (1987年) 日本 (198

肥料になる」と言って自動した日

数と

來襲機廿五擊墜怒

取例をとつたのである 取例をとつたのである 秋美 た原因は 御稷威の下 忠敬勇武な 島的ゲ

我友の損害

像水崎運 7 組織 BEAL

曲部/ET at.

1

機擊墜

正三位將

香港で

退路を運動、敵局際の一部を精災 に來興したが、逸早く出動せる我 りなる。欧空軍はまたも「香港地區 時五十三分頃、配爆連合十數機よ

し直ちにこれに猛躍を加へてB4 一大日午後第一一機を瞬間にして緊急、さらに調 めた、敵機は耐々たる緊西につく 爆取機に多数の有効照を命中せし

> 調査會を積 鰹的に活用

貴院、政府へ協力

し、勝股の財界を考究権制

ポース氏南京到着

飛躍時代の貯蓄には

算作用で有利な質権記憶と運用利益の分配の関しみもある 山一の投資優託は新時代に相関しい最良の貯落法です。

意成形态金的 山一

時部は十七日午後六時この同共同 割着した、風行外交部など

東京田西

廿日帝都で海軍葬

英驅逐艦擊 正の作 遊の何類ない日常の味道の中に得

響等茂| |別は似にもある。或る日本の融資 り蟾める、鴨なことをすると思ひかり、紅茶等を何時も他の番に盛 み込んでゐる誠定である▲同様の 人女中が、主人や宮の飲み残りの 人が在職して見てゐると、その

そんなみつともないとはするなり みたいならいくら飲んでもよい、 能り物を激魄して吹んでゐる「倒 社様すると彼の女中は『貴方は

×++一あらゆる計算事跡の機械化兵器

◇気が宏本氏(同土夹骨)新菱州 出現中十七旦前城 ◇青村以一氏(関盟衛王後接馬奥 町新規長)新王乗貨のため十七 甲米世

内所接)新年後後のため十七日 ◇宮村有人氏(東四族石計京城業

○季に九男(季主職長官)東上中

内斯亚夫以《呼金 原制顺宽的集 支足录》展南浦出版中十七日聯

に對し、レバノン監督に関する国

ハルを行うた監報道してある

Į.

【プエノスアイレス十六日同盟】

米、重大申入れ

以下はプランス解放委員會

の組得なる役割を遺骸なく型人が勢を一層発向にし政府と同

1

ツ軍に完全に占属された

W.

獨伊兩首腦會談か

レバノン 騒擾

内鮮母姉、學兵、を語る 立

城面内後里出身。同一年金村秀 を

を

るくば平場形態機町四ノ二五塁

審

行きましたが、その時はすつかり 語る人

國府釜山總領事任命



遅るな榮光の首途

山口高商

ら四君志願

遥々戦線突破で北支から受檢

豕庭燃料確保に本府で對策





卒業組 4 相踵

法専の《出陣二重奏

擧つて志願 卒業生七世

本址容託描

命も名も

結婚から志願へ二重の喜び ら

原方限君(こ)は、内解一

祖國に報いん

卒業生の重光君志願

出陣學徒の座談會

ţ,

農業獨紙大々的に賞讃

- ケンピル暦が航空間に刷する大・スルリンナ七日同間 第五次ブ

を加へた結果、次の質問を

學徒よ聖業達成 即刻志願の手続る

愛着を 戯じてゐる 牛島の將來を決する

半島民の運命がからつてゐるのだ、躊

者のみであり、それ等素 仕者の 同胞の

表示のを揶揄する。 ねるであらうと見てゐる

兵員三萬が藻屑

米英放逐の偉勳 前線將兵へ感謝決議

 「のいう。
 「のいう。
 「のいう。
 「のいう。
 「のいう。
 「のいう。
 「のいう。
 「のいった。
 「のいった。

 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。

 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいった。
 「のいた。
 「のいった。

社會式株堂天参取大和广所行發



補給不足で敗戰

北支開發副總裁

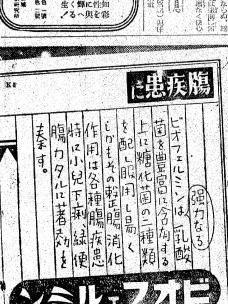
津田秀榮氏任命

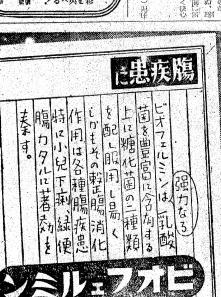
田に伊ふ後にとしてはまる八日 田郎、神秘常孝琳氏の出別勝了

18年中村学大紀氏が昇格任命

原因を明にした 今津博士の素晴しい研究 血壓·神經痛 不 1. th

中風。高





加之的名本带属专王天帝取大 會 的 和 顧 翰本與發

病弱胃腸の治療・強化に

恢復の秋!

_ 卖十五口一名才初·南海

畏し賜謁の光榮

東京配記]米英昭城の士第徐々|し吉福軍正爆後、機関爆後、翻蹕

も演権し、朝鮮人全機の受団の P最高朝に選してゐるごとを認め

真價を發揮 レ網探大

傍觀的態度

途、忠良の臣民たれ

朝鮮の將來は學徒に懸る。

測州市線より支池事機とな一一年度に控へるやうになったので

午島出身陸軍中佐平山輔英(肆)

からに過ぎないのだ、自分は少

食慾!

消化力!

澧水進攻の我鐵環壓縮

の微圧適齢者の指導者とな

軍大なる西田をも構びるも

共に大東亜共築圏を確立しそ る、われくの頃位態にその の哲任はまた残らないのであ

において医薬不断症にわが手

唯服從あるのみである。

果としようではないから

いか、われくはり我が

しては一生の恥だと歌然と

たもので解母しい。原図の直域を

然と証かしめようでは

皇民半島の歌喜は極まれり

と將又學徒出陣の光気を再ね 一義に徴圧制証施の光楽を撤

諸君を指導意識すべきわれ等

父兄は出陳単徒に優るともそ

のである。この選出版い思健の中核

快なる哉愛見

一夜を徹し『父兄』

風卒業―は 東京雄 大本科三年 |一位観察軍徳君(二)=京

まで職域奉公

たもので、志願を終ると
・征 うて返したが、強励をる 二十一名志願。求是

十四日現在湖里原家衛管內出陳海路著四十一名中出版

判拠部が肝療用が取首令部へ成然志願、飛頭の最を耽くの報が十七日衆等るや父として、夕れらまた景國世界でなり切るその日を今日、明日に迎へた。このとき京風飛動路監視護町九七季が徹氏は次界京都商品越大經濟層部一年に往戦する李 一が出來たりと陰寒の深に一夜を做して銀を執り。我並子を散然と能かせよりと『学園要能文兄に告ぐ』の書子十八日末明

であることを銘記せばならぬ あり、適格學徒諸君は献金石

男気なき者は勇敢出來す。

まで一人も残らず全部志願し

衆下の魂隔でさへわが**父**わが

悠久に生きるか後れて唯を干職に脂すが、生間は衆光の顔に意識ひして途に

命を待つべきであらうか

を開墾し風かな沢をもつて征

議職情内における際徒の適格

永登浦全語志願

く者に如何なる勇気があつて 途を返るものありとすれば征 戦を戦すことが出來ようか、

州(こ)京城普遍、香山沼人(こ

【平衡】単徳出師の東平域にな

東平壌の志願

に専門の陳名を以て全員志願王

配にと十七日本社に客託した際駅、輸出しおうた九十一個を得 はブーゲンビルに陸遷駆る揮撃に十五段、無根登四郎氏以下十七名 海軍へ感激の献金

【東京選話】 職事は出産率を低下」に死亡率はぐると減少してあるの

人的資源に不敗の態勢

人口增加百廿萬

半島學徒

でせるといふ一般常識を他所に、 V差でられてゐる。 長期版さ

德田秋聲氏

の牛九 【釜山 遠く上海にあ

二中)長女正惠(結婚東京現住)

至鮮一の金字塔

咸南は見事七割突破

戦捷に感激

高重徳君欣然と志願

難時別志順氏に張って

夫よ心置きなく もまた影兵に独らぬ烈々時

決意の手紙に動ぜぬ學兵の妻

問殺局次長より説明、

體演がある。國防航金として差出した

個した城大線科廠競生徒一同はこ

城大から献金

人青年で明十九年費

ふせ十六日平南道曹寮部を訪れて 順手継きをとつた「東西ー清元

たるべく奮起して刺激を脱さ

期

に氣揉む飛電

-海の五男へ『志願遅るな』

意氣嬉し子賓部隊の

母

ハ名に達し全部では二十一名と

用志願書を十七日群山府に提出 は令弟光平 (駒場壁大) 同忠武 育計七名 際町金田米正 群山では 【韓出 形内 の府邑面長に第出す 校査受放品を帯留地 日までに在留地徴兵

新義州百十五名中の志願者佳話 やう各兵事部では該 過激力課金村君に纏いて會計課金

早く志願手機をさよとの打電をし **奈印をして原順先、または墨校へ**

と二名

準面長 朴溶明 華氏の 本男師 憲君 山菱原氏長男尤德君(專修大)東

私達の兄を弟を戦列へ

*生に告ぐ*の檄

食糧國防團で

(東京電話) 金額國防國中央本部

表彰式學行

世紀の决戦場へ

親共 1.27

2.33

油片口

<u>可</u>。 了

and the contraction of the state of the stat

空は健康の決戦場だ…… 音等は一刻も早く晩巻じ 音等は一刻も早く晩巻じ かってもなりませんこの

和品類領本第 5ワツミ の 京集

傷護軍人開拓側 登農形態で

適格者八名

一祭一 買氣上らず

况金







